



2020年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年9月12日

上場会社名 アスкул株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2678 URL <https://www.askul.co.jp/kaisya/ir/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 吉岡 晃
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 CFO (氏名) 玉井 継尋 (TEL) 03-4330-5130
 四半期報告書提出予定日 2019年9月27日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年5月期第1四半期の連結業績(2019年5月21日~2019年8月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年5月期第1四半期	97,891	4.2	1,479	—	1,456	—	910	—
2019年5月期第1四半期	93,972	15.9	△111	—	△146	—	△234	—

(注) 包括利益 2020年5月期第1四半期 945百万円(—%) 2019年5月期第1四半期 △221百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年5月期第1四半期	17.85	17.85
2019年5月期第1四半期	△4.61	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年5月期第1四半期	165,787	48,922	29.3
2019年5月期	169,112	48,631	28.6

(参考) 自己資本 2020年5月期第1四半期 48,588百万円 2019年5月期 48,392百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年5月期	—	18.00	—	18.00	36.00
2020年5月期	—	—	—	—	—
2020年5月期(予想)	—	19.00	—	19.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年5月期の連結業績予想(2019年5月21日~2020年5月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	404,000	4.3	8,800	94.7	8,600	94.6	5,400	105.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2020年5月期1Q	55,259,400株	2019年5月期	55,259,400株
2020年5月期1Q	4,235,653株	2019年5月期	4,235,634株
2020年5月期1Q	51,023,762株	2019年5月期1Q	50,975,200株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
3. 補足情報	9
販売費及び一般管理費の明細(連結)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2019年5月21日から2019年8月20日まで)におけるわが国経済は、緩やかな回復基調で推移しましたが、米中貿易摩擦や海外の政治情勢の不安定化が続き、株価や為替等の動向は不確実であり、先行きは不透明な状況となっております。

当社グループが属するeコマース市場は、配送ドライバー不足等に起因して配送運賃が高止まっており、eコマース各社の経営に大きな影響を与えております。

このような状況の中、当第1四半期連結累計期間の売上高は前年同期比4.2%の増収となりました。主力分野であるeコマース事業のBtoB事業は、前年同期比4.2%の増収と順調に推移しました。BtoC事業「LOHACO」の売上高は、期初計画通り前年同期水準で進捗しており、BtoC事業合計としては前年同期比0.4%の増収となりました。これは、独自価値ECへの転換による損益改善の取り組みを最優先課題としている「LOHACO」において、売上高配送費比率の高いボリュームゾーンの飲料の販売方法を見直し、「ひと箱eco」(注1)サービスを開始したことで、飲料品のケース販売は減少しましたが、洗剤等その他商品の販売額が伸長したことによるものです。

差引売上総利益は、売上総利益率が前期から引き続き堅調に推移したことで、増収により増益となりました。また、2019年1月に実施した「LOHACO」の基本配送料が無料となるご注文金額(以下、「配送バー」)の改定後の買い回り効果や2019年7月の「ひと箱eco」サービス等の開始により、売上高配送費比率等が低下し、販売費及び一般管理費が減少しており、売上高販管費比率については22.1%と1.3ポイント改善しました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高978億91百万円(前年同期比4.2%増)、営業利益14億79百万円(前年同期は営業損失1億11百万円)、経常利益14億56百万円(前年同期は経常損失1億46百万円)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、9億10百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失2億34百万円)となりました。

セグメント別の経営成績につきましては、以下のとおりです。

<eコマース事業>

当社グループの主力分野であるBtoB事業につきましては、さらなる成長に向けて引き続きeコマース戦略を実行しております。当社で購入経験のないお客様がサーチエンジンで商品を検索した際に当社のWEBサイトが上位に掲載される施策(SEO)やインターネット広告を強化したことにより新規のお客様のご利用が増加いたしました。さらに、ビッグデータやAI(人工知能)を活用したWEBサイト上の検索機能の進化や定期配送サービス、コピー用紙の残量をIoT機器で検知し自動的に配送するサービスにより、従来から当社サービスをご利用いただいているお客様の購入点数・単価ともに増加いたしました。商品の種類別で見ると、店舗等で頻繁にご利用される日用消耗品や消耗紙、オフィスでご利用される飲料等の生活用品が成長を牽引し、MRO商材(注2)、医療・介護施設向け商材の売上高も拡大しました。注力分野であるロングテール商品も順調に拡大等しており、前年同期比で31億91百万円増収の795億51百万円(前年同期比4.2%増)となりました。

BtoC事業につきましては、「LOHACO」の売上高は122億70百万円(前年同期比2.5%減)となり前年同期比で3億18百万円の減収、子会社株式会社チャームの増収により、BtoC事業合計では、前年同期比で63百万円増収の160億11百万円(前年同期比0.4%増)となりました。「LOHACO」は、広告等のフィー収入が増加し、「配送バー」の改定と「ひと箱eco」サービス等の効果により売上総利益率が上昇し、売上高配送費比率も低下していることから、損益の改善が着実に進んできております。

以上の結果、両事業を合計したeコマース事業の売上高は955億62百万円(前年同期比3.5%増)となりました。差引売上総利益は、オフィス生活用品やMRO商材等の増収、収益力の高い当社オリジナル商品の拡充等により、224億78百万円(前年同期比4.1%増)となりました。

上述の通り売上高配送費比率が減少し、また、前期に「ASKUL Value Center 日高」の固定資産を減損したことにより減価償却費が減少したため、販売費及び一般管理費が前年同期比1.9%減少の212億24百万円となり、営業利益は12億54百万円(前年同期は営業損失38百万円)となりました。

<ロジスティクス事業>

株式会社ecoプロパティーズの物流施設のアセットマネジメント事業による売上高が増加し、これにより営業利益も大幅に増加いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は21億14百万円（前年同期比47.8%増）、営業利益は2億13百万円（前年同期は営業損失96百万円）となりました。

<その他>

婦恋銘水株式会社の売上高は概ね前年同期並みで進捗しました。

当第1四半期連結累計期間の売上高は3億63百万円（前年同期比1.6%減）、営業利益は19百万円（前年同期比47.7%減）となりました。

- (注) 1 飲料品のケース販売からの転換を図るため、水・お茶などの飲料対象商品をお求めやすい本数・価格でご提供し、合計18kgまでの組み合わせなら飲料配送手数料がかからないサービスを指します。
- 2 Maintenance, Repair and Operationsの頭文字をとった略称で、工場・建設現場等で使用される消耗品・補修用品等の間接材全般を指します。

(2) 財政状態に関する説明

(資産の部)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は1,657億87百万円となり、前連結会計年度末と比べ33億25百万円減少いたしました。主な減少要因は、電子記録債務の減少等により現金及び預金が10億22百万円、受取手形及び売掛金が7億87百万円、商品及び製品が6億99百万円減少したことであります。

(負債の部)

当第1四半期連結会計期間末における負債は1,168億64百万円となり、前連結会計年度末と比べ36億16百万円減少いたしました。主な減少要因は、電子記録債務が23億46百万円減少したことであります。

(純資産の部)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は489億22百万円となり、前連結会計年度末と比べ2億90百万円増加いたしました。主な増加要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益9億10百万円計上に対し、配当金の支払いが9億18百万円あったことで利益剰余金は減少したものの、株式会社エコ配の増資等に関連し、資本剰余金が1億84百万円増加するとともに、非支配株主持分が1億31百万円増加したことであります。

以上の結果、自己資本比率は29.3%（前連結会計年度末は28.6%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年7月3日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年5月20日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年8月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	57,469	56,446
受取手形及び売掛金	42,189	41,402
商品及び製品	15,766	15,067
原材料及び貯蔵品	342	193
未成工事支出金	72	53
未収入金	8,733	8,504
その他	1,230	1,508
貸倒引当金	△12	△16
流動資産合計	125,792	123,160
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,778	7,862
減価償却累計額	△2,719	△2,837
建物及び構築物（純額）	5,058	5,025
土地	136	136
リース資産	18,714	18,725
減価償却累計額	△4,591	△5,045
リース資産（純額）	14,122	13,679
その他	9,448	9,488
減価償却累計額	△6,392	△6,561
その他（純額）	3,056	2,926
建設仮勘定	50	117
有形固定資産合計	22,424	21,885
無形固定資産		
ソフトウェア	6,722	6,618
ソフトウェア仮勘定	1,221	1,425
のれん	1,889	1,794
その他	13	12
無形固定資産合計	9,847	9,851
投資その他の資産		
投資有価証券	606	688
繰延税金資産	3,967	3,732
その他	6,564	6,558
貸倒引当金	△91	△89
投資その他の資産合計	11,047	10,889
固定資産合計	43,319	42,626
資産合計	169,112	165,787

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年5月20日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年8月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	46,272	46,721
電子記録債務	20,088	17,742
短期借入金	380	380
1年内返済予定の長期借入金	2,184	2,053
未払金	9,340	9,245
未払法人税等	1,100	352
未払消費税等	1,074	660
引当金	779	705
その他	3,368	3,744
流動負債合計	84,590	81,605
固定負債		
長期借入金	14,646	14,356
リース債務	13,060	12,610
退職給付に係る負債	3,477	3,513
資産除去債務	2,346	2,395
その他	2,358	2,382
固定負債合計	35,889	35,258
負債合計	120,480	116,864
純資産の部		
株主資本		
資本金	21,189	21,189
資本剰余金	24,061	24,245
利益剰余金	19,972	19,965
自己株式	△16,788	△16,788
株主資本合計	48,435	48,611
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	△1	△0
為替換算調整勘定	28	27
退職給付に係る調整累計額	△69	△50
その他の包括利益累計額合計	△42	△23
新株予約権	18	△18
非支配株主持分	220	352
純資産合計	48,631	48,922
負債純資産合計	169,112	165,787

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年5月21日 至 2018年8月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年5月21日 至 2019年8月20日)
売上高	93,972	97,891
売上原価	72,085	74,792
売上総利益	21,887	23,098
返品調整引当金戻入額	39	26
返品調整引当金繰入額	34	26
差引売上総利益	21,892	23,098
販売費及び一般管理費	22,003	21,619
営業利益又は営業損失(△)	△111	1,479
営業外収益		
受取利息	7	6
賃貸収入	26	112
その他	29	60
営業外収益合計	63	179
営業外費用		
支払利息	65	64
賃貸費用	24	109
その他	8	28
営業外費用合計	97	203
経常利益又は経常損失(△)	△146	1,456
特別利益		
固定資産受贈益	30	—
特別利益合計	30	—
特別損失		
固定資産除却損	26	2
その他	1	—
特別損失合計	27	2
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△143	1,453
法人税、住民税及び事業税	114	300
法人税等調整額	△33	225
法人税等合計	80	526
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△224	927
非支配株主に帰属する四半期純利益	10	16
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△234	910

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年5月21日 至 2018年8月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年5月21日 至 2019年8月20日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△224	927
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	△1	△1
退職給付に係る調整額	4	19
その他の包括利益合計	3	18
四半期包括利益	△221	945
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△231	929
非支配株主に係る四半期包括利益	10	16

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2018年5月21日 至 2018年8月20日)

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	eコマース 事業	ロジスティク ス事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	92,307	1,430	93,738	233	93,972	—	93,972
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	135	135	△135	—
計	92,307	1,430	93,738	369	94,107	△135	93,972
セグメント利益 又は損失(△)	△38	△96	△134	36	△97	△13	△111

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、製造事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額△13百万円は、セグメント間取引消去△13百万円になります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2019年5月21日 至 2019年8月20日)

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	eコマース 事業	ロジスティク ス事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	95,562	2,114	97,677	214	97,891	—	97,891
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	148	148	△148	—
計	95,562	2,114	97,677	363	98,040	△148	97,891
セグメント利益	1,254	213	1,468	19	1,487	△8	1,479

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、製造事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△8百万円は、セグメント間取引消去△8百万円になります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

販売費及び一般管理費の明細 (連結)

科目	前第1四半期 連結累計期間 (自 2018年5月21日 至 2018年8月20日)		当第1四半期 連結累計期間 (自 2019年5月21日 至 2019年8月20日)			(参考) 前期 2019年5月期 (自 2018年5月21日 至 2019年5月20日)	
	金額 (百万円)	売上比 (%)	金額 (百万円)	売上比 (%)	前年同期比 (%)	金額 (百万円)	売上比 (%)
人件費	4,906	5.2	5,104	5.2	104.0	20,242	5.2
配送運賃 ※1	6,205	6.6	5,857	6.0	94.4	23,912	6.2
販売促進引当金繰入額	148	0.2	140	0.1	94.8	537	0.1
業務外注費	879	0.9	936	1.0	106.6	3,548	0.9
業務委託費	2,840	3.0	2,751	2.8	96.9	10,939	2.8
地代家賃	2,403	2.6	2,387	2.4	99.3	9,595	2.5
貸倒引当金繰入額	23	0.0	10	0.0	45.1	24	0.0
減価償却費 ※2	939	1.0	723	0.7	77.0	3,590	0.9
ソフトウェア償却費	452	0.5	554	0.6	122.5	1,882	0.5
その他諸経費	3,205	3.4	3,152	3.3	98.3	12,812	3.4
合計	22,003	23.4	21,619	22.1	98.3	87,085	22.5

※1 前年同期と比較して、当第1四半期連結累計期間の配送運賃が減少しておりますが、主な要因は、「配送バー」の改定による買い回り効果と「ひと箱eco」サービス開始により、売上高配送費比率が低下したこと等による影響であります。

2 前年同期と比較して、当第1四半期連結累計期間の減価償却費が減少しておりますが、主な要因は、前期末に「ASKUL Value Center 日高」の固定資産について減損損失を計上したこと等による影響であります。